



優良賞

自分の家族に食べさせる以上の 思いで作るパン



国籍	中国
職種	パン製造
実習実施者	株式会社ミック コーポレーション
監理団体	中部 ESCO 産業協同組合

孫 平
SUN PING

日本に留学した従姉が夏休みに帰国するといつもお腹を壊していました。従姉は口癖のように「日本では何を食べても大丈夫なのに…」と言っていました。このような話を聞いて、「いったいにほんという国はどんな国なんだろう、人間が生きている世の中だから清潔と言っても同じくらいのレベルだろう。」と思いました。しかし、考えれば考えるほど私の中疑問は膨らむ一方でした。そのなか私はとうとう疑問を解く機会をつかみました。

来日して、わたしはパン製造職場に配属されました。私は先輩の日本人から安全衛生管理を教わりました。パンを置くラックの洗い方にも順番があるのを知りませんでした。一番汚れがたまりやすい箇所から最低何回磨くか、その次にどこを洗えばいいか、順番が決まっていました。また、先輩から後輩に仕事に対する態度、ノウハウが引き継がれていて、より素晴らしい経験が伝承されていることが実感でました。

仕事に少し慣れてきてスピードを出したせい、私はパンを1つ落としました。「3秒法則」を考え、素早くパンを拾い箱に入れようとしたときに、先輩に止められました。先輩は「落と

したパンは商品にならないから破棄だね。」私は拙い日本語で「もったいないですね。」そうしたら先輩が「確かにもったいないけど、これを購入するお客さんの安全が第一だね。もしももったいないと思うならこれからもっと正確にお仕事をして、商品を落とさないようにすればいいよ。おうちでは落としても拾って食べているけど、お客さんに届けるものはミスが許されない。つまり自分家族に食べさせる以上の思いでパンを作らなければいけないね。」先輩の話聞いて私は恥ずかしくて「すみません、すみません。」と謝りました。私は心のなかで「自分の家族に食べさせる以上の思いでパンを作る。」と自分に言い聞かせました。

一所懸命に業務に励んでいるなか、日本では「セブンイレブンおでん不衛生動画」、「くら寿司の不衛生動画」が話題となり、中国の中央テレビにまで取り上げられることになりました。中国にいる友人達に wechat で「日本の外食は大丈夫か？」と質問されました。私は職場の衛生管理について説明し、「不衛生動画」騒動は極一部の人行為であり、日本全体の行為ではなく、騒動を起こした人はでに処罰されていると伝えました。日本の衛生事情を母国の友人に説明している自分にびっくりしました。なぜならば、私には食の安全を守るために一所懸命に努力した実経験があったからです。

今日も私は思いを込めてパンを作っています。このパンが誰に届けられているかはわかりません。しかし、誰が食べても不安にならない清潔でおいしいパンを作り続けていきたいと思っております。